



軽防協ニュース速報

2017年第3四半期(7月-9月)の伝染病発生状況

2017年12月配信

(International Collating Centre からの情報)

オーストラリアからの報告は、1 四半期遅れて配信されることに注意されたい。しかし、オーストラリアからの 2017 年第 2 四半期の報告がわずかに遅れている。報告され次第直ちに配信する予定である。その他の国の 2017 年第 3 四半期の報告は通常の形式で記載する。

オーストラリアの 2017 年第 2 四半期の報告

オーストラリアからの第 2 四半期の報告は後日配信する。

2017 年第 3 四半期の報告

アルゼンチン

報告未着。

オーストラリア

報告未着。

カナダ

馬伝染性貧血(EIA)

2017年7月1日から9月30日までの間、アルバータ州で2例、マニトバ州で14例、計16例のEIA陽性例が報告された。陽性例は、アルバータ州の2施設、マニトバ州の5施設で確認された。

アルバータ州の 1 例は、以前に確認された症例と疫学的な関連があり、もう 1 例は輸出検査中に確認された。マニトバ州の 12 例は競技の事前検査で確認された。残りの 2 例は陽性が確認された施設において、45 日後の再検査で確認された。

陽性例全てで臨床症状を示さなかった。

チリ

報告未着。

デンマーク

腺疫 (*Streptococcus equi*)

2017年第3四半期に、1施設において腺疫の発生が8例確認された。更なる情報は得られていない。

フランス

(馬感染症疫学監視ネットワーク RESEP からの情報)

ウマヘルペスウイルス4型 (EHV-4) による呼吸器疾患

2017年第3四半期に、9件のEHV-4による呼吸器疾患が確認された(7件は1例ずつ、2件は2例ずつ)。発生地域はカルバドス県、コート=ダルモール県、イル=エ=ビレーヌ県、オルネ県、パ=ド=カレー県であった。感染馬は発熱や鼻漏、浮腫、発咳の症状を呈した。全例で鼻咽頭スワブを用いたPCR検査によって確定診断がなされた。

ピロプラズマ病

フランスでは依然として風土病である。

ロタウイルス

ジロンド県、マイエンヌ県、オルネ県にてロタウイルス感染による下痢、発熱もしくは虚弱の症状を呈した子馬が5件確認された(4件は1例、1件は3例)。糞便もしくは腸内容物を用いたPCR検査によって確定診断がなされた。

腺疫 (*Streptococcus equi*)

12件の発生が報告された(11件は1例、1件は2例)。発生地域はアリエ県、アリエージュ県、ブーシュ=デュ=ローヌ県、カルバドス県、コート=ダルモール県、ガール県、エロー県、イル=エ=ビレーヌ県、モーゼル県、オルネ県であった。感染馬は呼吸困難、鼻漏、リンパ節腫脹、嚥下障害、発熱、結膜炎、発咳の症状を呈した。確定診断は鼻咽頭スワブ(6例)、鼻腔スワブ(4例)、膿もしくは膿様鼻漏(2例)を用いたPCR検査もしくは細菌培養によってなされた。

ドイツ

ドイツの発生報告は、第3四半期以降の中間臨時報告として既に発表していることに注意されたい。

Dr.Boese 研究所有限公司 (HBLB の CEMO 認定研究所) による追加結果

馬伝染性子宮炎(CEM)

2017年第3四半期の間、異なる5施設においてCEMの発生がアイスランド種で10例(7例は種牡馬、1例はセン馬、2例は繁殖牝馬)確認された。確定診断は生殖器スワブを用いたPCR検査によってなされた。

ウマヘルペスウイルス1型(EHV-1)による神経型疾患

2017年3四半期の間、1施設においてEHV-1による神経型疾患の発生が4例確認された。確定診断は鼻咽頭スワブを用いたPCR検査によってなされた。

ウマヘルペスウイルス4型(EHV-4)による呼吸器疾患

2017年第3四半期の間、異なる4施設においてEHV-4による呼吸器疾患の発生が9例確認された。確定診断は鼻咽頭スワブを用いたPCR検査によってなされた。

腺疫(*Streptococcus equi*)

2017年第3四半期の間、異なる7施設において腺疫の発生が7例確認された。感染馬は発熱、鼻漏、下顎リンパ節の腫大といった症状を呈した。確定診断は細菌培養、鼻咽頭スワブ(5例)や下顎リンパ節膿瘍(1例)、喉嚢洗浄液(1例)を用いたPCR検査によってなされた。

香港

報告事項なし。

アイルランド共和国

非定型ミオパチー

2017年第3四半期中に牧草摂取に関連した非定型ミオパチーの発生が1例確認された。更なる情報は得られていない。

イタリア

報告未着。

日本

破傷風

2017年7月16日、ワクチン未接種の非サラブレッド種で1例確認された。感染馬は起立困難、痙攣の症状を呈し、安楽死処分となった。確定診断は北海道日高家畜保健衛生所で実施された。

マレーシア

報告事項なし。

ニュージーランド

報告事項なし。

シンガポール

報告事項なし。

南アフリカ

アフリカ馬疫 (AHS)

AHS 清浄地域内もしくは汚染地域での発生はない。

アルボウイルス

2017年7月から9月の間、アルボウイルス感染の陽性例が少数確認された。プレトリア大学ウイルス学部門ウイルス性人獣共通感染症センターの節足動物媒介性新興感染症および呼吸器系ウイルスプログラムにより8年間実施したウマのWNVに関する研究が完了し論文として投稿された。研究では、ウマはWNVに対して高い感受性を示し、WNVの発生件数と蚊の発生、降水量の増加には関連があることを明らかにした。南アフリカ全土で依然としてWNVの系統2に属するウイルス株が、ウマ(およびヒト)の神経症例の大部分で検出されている。

ウマヘルペスウイルス 1&4 型 (EHV-1&4)

2017年第3四半期中に、EHV-1およびEHV-4の散発的な感染が確認された。EHV-1による流産および新生子馬の死亡がウエスタンケープ州のロバートソン地域で3例確認された。2例は流産胎子で、1例は出生後虚弱で生後4時間以内に死亡した。EHV-1感染はハウテン州、ノーザンケープ州のカルー地域でそれぞれ確認された。EHV-4の感染がムプマランガ州で1例確認された。

ウマ脳症ウイルス(EE)

2017年7月、ウマ脳症ウイルスの不顕性例が南アフリカのAHSサーベイランスゾーンにおけるAHSのサーベイランスの一環として、1例確認された。検体は2017年6月に採取された。

腺疫 (*Streptococcus equi*)

腺疫は南アフリカでは風土病であり、散発的に発生している。

ピロプラズマ病(*B.caballi*、*T.equi*)

2017年第3四半期中に、ピロプラズマ病がハウテン州、リンポポ州、ムプマランガ州、ウエスタンケープ州、ノーザンケープ州を含む南アフリカの多くの州で確認された。

韓国

報告事項なし。

スペイン

報告未着。

スウェーデン

報告事項なし。

スイス

エールリヒア症

2017年7月28日、エールリヒア症が1例確認された。確定診断は血液塗抹によってなされた。

ピロプラズマ病

2017年7月4日、ピロプラズマ病が1例確認された。確定診断はPCR検査によってなされた。

腺疫 (*Streptococcus equi*)

2017年第3四半期中に、異なる2施設にて腺疫の発生が10例確認された。確定診断はPCR検査によってなされた。

トルコ

報告事項なし。

アラブ首長国連邦 (UAE)

報告未着。

イギリス

イギリスの症例や発生報告は、第3四半期以降の中間臨時報告として既に発表していることに注意されたい。腺疫はイギリスの馬では風土病となっている。

アメリカ合衆国

東部馬脳炎 (EEE)

6州で39例のEEEが確認され、その多くはウィスコンシン州で報告された。

ウマヘルペスウイルス (EHV) による疾患

EHV-1 および EHV-4 による呼吸器疾患が複数の州で拡大している。EHV-1 は主に子馬の呼吸器疾患に関連していた。EHV-1 による流産は異なる4施設で4例であった。EHV-1 による神経疾患の発生は2例で、いずれもバージニア州で報告された。1件は2例で、1例は安楽死処分となった。2件目は4例で、2例が安楽死処分となった。

馬インフルエンザ

2017年第3四半期中に、馬インフルエンザは1件の発生が確認されている。

馬伝染性貧血(EIA)

馬伝染性貧血が5州で確認された。コロラド州(2例)、イリノイ州(1例)、カンザス州(3例)、ノースカロライナ州(1例)、オクラホマ州(2例)であった。

リケッチア症

ケンタッキー州で27例の感染が確認された。

ピロプラズマ病

複数の州で多数のピロプラズマ病が確認された。アンダルシアン1例を除いて全てクォータホースの競走馬で確認もしくは医原性感染の疑いがあった。

馬増殖性腸症

ケンタッキー州において、子馬の *Lawsonia intracellularis* 感染が3例報告された。診断は遺伝子検査によってなされた。

狂犬病

狂犬病の発生がミネソタ州、ノースカロライナ州で1例ずつ報告された。

ロドコッカス感染症

アメリカにおいてロドコッカス感染症は風土病である。2017年第3四半期中に27例の発生が確認された。

サルモネラ症

2017年第3四半期中に、サルモネラ症の感染が10例確認されており、血清型B感染が5例、C3感染が5例であった。

腺疫 (*Streptococcus equi*)

アメリカにおいて腺疫は風土病であり、13州で少なくとも33施設で発生が確認されている。4州で複数の発生が認められている。

ウエストナイル脳炎(WNE)

2017年第3四半期中にウエストナイル脳炎の感染が15州で135例確認され、その3分の2は9月に報告された。

ベネズエラ

報告未着。